

2023年度第1回日本臨床環境医学会理事会議事録

日時：2023年6月23日（金）16:30-17:45

場所：〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

近畿大学東大阪キャンパス 11月ホール

議長：坂部 貢理事長

出席者：網中雅仁、東 賢一、鍵 直樹、木村 穰、坂部 貢、佐藤 勉、
野崎淳夫、平久美子、高野裕久、吉田貴彦

オブザーバー：吉野 博顧問、北條祥子名誉会員

欠席者：石竹達也、香山不二雄、関根嘉香、森 千里、柳 宇（全員委任状提出）

配布資料：2023年度第1回日本臨床環境医学会理事会議事次第

議事に先立ち、坂部貢理事長・東賢一会長・網中雅仁次期会長からご挨拶を頂戴した（東賢一会長・網中雅仁次期会長は授業等が重なったため議題間でご挨拶）。特に坂部理事長からは社会発信の重要性が指摘された。次期会長から、来年度の第32回学術集会は2024年6月8日（土）・9日（日）もしくは15日（土）・16日（日）にくらしき作陽大学3号館（聖徳殿）・1号館ロビー他において開催予定との案内があった。

理事出席者10名、委任状5通の計15名全員により、本理事会の成立が事務局より確認された。また役員等で所属が変更になっている場合は事務局までご連絡いただきたいとのアナウンスがあった。

議題

審議・報告事項

1. 事業報告

- 1) 2022年度事業概要報告：配布資料に基づき会員管理業務委託、HPの整備（学会支援センターに更新管理を委託）、国会図書館を利用した「臨床環境医学」バックナンバーの整備・収録体制の構築、他学会からの後援・協賛依頼、引用承諾についての報告があった。なお会則の根本的整備、若手奨励金の準備の議論は先送りとなっている旨、報告があった。
- 2) 前学術集会の報告（木村：柳前会長代理）：配布資料をもとに久しぶりの対面中心の開催で110名もの参加があり、盛会裡に終了したこと、会計報告では、収支決算も潤沢で516,302円が学会本部に返金されたことが報告された。
- 3) 会員数報告：2023年3月31日現在、会員数は183名（購読会員1名、賛助会員1社）、昨年度の入会は6名、退会者は20名。
- 4) 編集委員会報告：編集事務局より、直前に開催された編集委員会の議事について報告があった。学会誌の発刊は遅延しつつも2022年度の2号分が発刊済み、バックナンバーの製本化、国会図書館への収録体制整備、投稿規定の改正（原則として著者への別刷り無料進呈を廃止）が報告、提案され、了承された。

2. 2022年度分科会活動報告について（含2023年度活動計画）
3分科会（病院・高齢者施設環境分科会、環境アレルギー分科会、環境過敏症分科会）は2023年度は継続2年のうちの初年度となる。
配布資料に基づき2022年度の活動報告及び2023年度の活動計画が、会計報告とともにそれぞれ柳理事代理の事務局、平理事、北條名誉会員からなされた。なお、これらはすでにHPに掲載されており、2022年度活動報告については次号の「臨床環境医学」に掲載予定である。
3. 会員事務委託について
昨年度の理事会の決定に基づき（一社）学会支援機構への会員管理事務移管の手続きがホームページの管理委託も含めて進められ、今年度より実現した。ただし名簿の整理・移管、ゆうちょ銀行の振替口座の開設には時間がかかった旨、木村理事より報告があった。ホームページ管理委託の今後については検討要。
4. その他
特になし

審議事項

1. 理事長選出
第8期理事長として坂部貢理事が推薦され、全会一致で選出された。再任で任期は会則上2年であるが、とりあえず1年間の了承が得られている。
2. 新規理事・評議員の推薦について
配布推薦書をもとに東理事から水越厚史評議員に対する理事推薦がなされ、承認された。また平理事より林基哉、篠原直秀会員の評議員推薦、坂部理事長より戸高恵美子会員、吉富寧寧会員の評議員推薦があり、全て承認された。
3. 2023年度執行部体制について
坂部理事長より本部事務局の移動に伴い、総務担当理事に森千里理事、編集委員長に佐藤勉理事を配置（指名）したい旨の提案があり、承認された。なお、本部事務局は千葉大学予防医学センター内に、編集事務局は東海大学医学部生体構造学領域に置かれる。
4. 2022年度会計報告について
2022年度収支決算書（事務委託先の学会支援センター作成）に基づき坂部財務担当理事から説明がなされ、2022年度決算は総収入が2,034,484円、総支出が1,872,351円であることが報告された。年度会計としては黒字であるが、「臨床環境医学」31(2)の印刷製本費用は2023年度会計に回される。また繰越金については過年度について坂部理事の立替分などがあることから数字の修正がある見込みである。
5. 2022年度会計監査について
上記決算報告に対する会計監査が清野監事の元で実施され、上記2022年度会計報告とともに承認された。なお坂部理事が前日に持参された原本のコピースライドを明日の評議員会・総会で提示する。

6. 2023年度予算（案）について

坂部財務担当理事より2023年度予算案が提示され、承認された。印刷製本費については上記の分があり、事務局移転などもあるので110万円強の赤字予算となっている。実際の支出はかなり抑えられる可能性もあり、繰越金もあるので十分対応できると考えられる。ただし、今後のことを考えると新たな会員の獲得など積極的に収入を増やす方策の検討が必要との指摘があった。

7. 次々期会長の選出について

鍵直樹理事が次々期会長に推薦され、全会一致で承認された。前回の学術集会の実行委員長としての実績もあり、お引き受けいただけることとなった。

8. 本部事務局および「臨床環境医学」事務局の移動について

本部事務局は千葉大学予防医学センター内に、編集事務局は東海大学医学部生体構造学領域に置かれる予定であるが、学会ホームページはUMINを利用させていただいている点から、今後のメールアドレスはそれぞれUMINドメインで取得する方向性で了解を得た（従前は木村の個人アドレスであった）。公共アドレスに届いたメールを各担当者は転送システムで受け取ることができる。

9. 会則改正および投稿規定改正について

ゆうちょ銀行の振替口座開設申し込みの際、事務局所在地の明記が求められたことから昨年の理事会・総会で会則改正を承認いただいたが、上記事務局移転に伴い、過去の表記（「理事長のもとにおく」）に戻すこと、また、会員が「名簿を受け取ることができる」、とした表記を削除したい旨、総務担当理事・事務局から提案があり、承認された。また編集委員会より、投稿規定にある「別刷りの30部無料提供」を原則廃止したい旨の提案を承認した。なお、希望者は有料（実費）で別途申し込むことができる。依頼原稿については現行のルールを適用予定。

9. その他

特になし

以上